

学位被授与者氏名	原田 昂（はらだ たかし）
論文題目	<u>David Copperfield</u> における音声文化と文字文化の混在 メディアとしての文学
論文審査結果の要旨	<p>本論文は、作品中の登場人物の「移動」に注目したところに新奇さがある。原田氏は、登場人物を移動させることによって、露骨な場面の転換や不自然な事件の発生を防ぎ、また各号の終わりに主人公がいる場所、あるいは向かっている場所によって、次号への期待を持たせる効果があるとする。McLuhan は連載形式というメディアの影響によって起こる、作品の成立過程の逆転現象を同時存在性 (Simultaneity) と呼んでいるが、連載形式による作品がこの同時存在性に制限されるなら、David の移動もまた、この同時存在性と関係があるはずである。本研究では David Copperfield に多用される主人公の移動に焦点を当て、McLuhan の Understanding of Media における「メディアこそがメッセージである」という考え方、および“Media Log”における「同時存在性」という視点から、メディアが Dickens 作品に制限を与えた事実と、同時に Dickens がその枠組みを利用さえしていたことを明らかにしている。</p> <p>平成 26 年 2 月 19 日に、北九州市立大学北方キャンパス本館 B-301 教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士 (比較文化) として十分な内容であると判定した。</p>